

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>○「自立と社会参加」をめざし、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した授業を実践する。</p> <p>○自分も他者も大切にし、共感的な人間関係を育成する教育活動を実践する。</p>	<p>①児童生徒の実態を踏まえ教科等の横断的視点でねらいを明確にした授業を実施する。</p> <p>②児童生徒同士のかかわりあいを促進し、学びを深める授業を展開する。</p>	<p>①指導案を工夫することで、教員が教科等の横断的な視点と、ねらいの関係性を意識し、捉えやすくする。</p> <p>②授業の中で、児童生徒がお互いにかかわりあい、学びを深める場面を明確化して、授業実践を行う。</p>	<p>①教科等の横断的な視点を意識して授業づくりができたか。また、ねらいは明確だったか。</p> <p>②かかわりあい、学びを深める場面を取り入れた授業づくりができたか。</p>
2	児童・生徒 指導・支援	<p>○一人ひとりの教育的ニーズを捉え、根拠に基づいた組織的な指導・支援の充実を図る。</p> <p>○教育活動全体で人権尊重の視点に立ち児童・生徒が安全で安心して過ごせる学校づくりに取り組む。</p>	<p>①行動観察による見立てとアセスメントとの関連付けについて理解を深め、チームアプローチを意識した支援体制をつくる。</p> <p>②教員による適切な配慮のもと、児童・生徒が互いの個性を尊重し、人権が尊重される学級づくりをする。</p>	<p>①研修等を設定し、アセスメントの有効活用について理解を深めるとともに、専門職の活用を通してチームとしての支援を意識する。</p> <p>②合理的配慮や、さん付け呼称等の徹底について定期的に確認する機会を設け、人権が尊重される学級づくりをする。</p>	<p>②アセスメントを指導に役立てるとともに、専門職の意見などを活用したチームとしてのアプローチができたか。</p> <p>②適切な配慮を意識し、人権を尊重した学習活動がなされたか。アンケート結果 80%を達成できたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>○キャリア教育の視点を持ち、児童・生徒が地域で豊かに暮らし、働くことを見据えた教育活動を展開する。</p> <p>○児童生徒のニーズや適性に応じた、自己選択・自己決定のための継続した指導・支援に取り組む。</p>	<p>①小学部から高等部までの系統的なキャリア教育の充実を図り、育成した力を明確にした学習活動を展開する。</p> <p>②児童生徒の状況を踏まえつつ、卒業後の仕事や暮らしに関係する学習内容を幅広く具体的に設定し、興味や関心を広げる。</p>	<p>①キャリアパスポートを有効的に活用し、児童生徒一人一人の自分らしい生き方を意識して学習活動のねらいの明確化を図る。</p> <p>②ゲストティーチャーや、卒業生、卒業後の進路先等と連携し、講話や体験活動を主とした学習内容を取り入れ、興味関心を広げる。</p>	<p>①キャリアパスポートを活用して、系統性を確認した上で、育成したい力を明確にした学習活動が行えたか。</p> <p>②外部機関と連携し、講話や体験活動を取り入れ、児童生徒の興味関心を広げる学習活動ができたか。アンケート結果 80%を達成できたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>○学校コンサルテーションを基盤としたセンター的機能の充実を図り、校内・地域におけるインクルーシブな学校づくりを推進する。</p>	<p>①交流及び共同学習の内容の充実を図り、学校間交流や居住地交流などの取組の意義について、地域へ理解を広げる。</p> <p>②ホームページに加えて、近隣自治会の回覧を充実させ、地域の方が来校できる機会を設定する。</p>	<p>①交流及び共同学習の場を創出する。ねらいや位置づけの明確化を図るとともに、出前授業などを通して理解啓発する。</p> <p>②ホームページや広報誌の内容を充実させ、周知するとともに、地域の方が来校できる場を計画する。</p>	<p>①交流及び共同場の創出ができたか。ねらいや位置づけが明確であったか。交流及び共同学習の取組の意義を地域へ伝えたか。</p> <p>②地域への広報を充実させることができたか。地域の方の来校の機会を増やすことができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>○安全・安心な教育環境の整備に取り組む。</p> <p>○教職員の資質・指導力・専門性の向上を目指し、人材育成と不祥事防止に重点をおき、信頼と期待に応える学校運営と組織づくりを行う。</p> <p>○組織的な業務の効率化を図る。</p>	<p>①PTAと連携した防災研修や訓練等を行い、学校と家庭が連携した安全体制について継続的に改善を図る。</p> <p>②教員が自らのキャリアステージに応じてより高い段階に向かうために、主体的に学べる職場環境の充実を図る。</p> <p>③業務支援チームに各チームの仕事を切り出して業務のスリム化を図り、子どもと向き合う時間を確保する。</p>	<p>①PTAと連携した防災研修や訓練の実施に向けた連絡調整を密に行い、実施する。防災備品の管理を徹底し、緊急時に備える。</p> <p>②授業体制の見直しや業務改善を勧め、主体的に学ぶための時間の確保に努めるとともに、研修機会の周知徹底を行う。</p> <p>③教員の働き方改革に関するアンケートを行うとともに、各チームで業務削減案や支援チームへの業務の切り出しを進める。</p>	<p>①PTAと連携した防災研修や訓練を実施し、成果を上げることができたか。防災備品の管理徹底が改善されたか。</p> <p>②新しい研修体系について理解でき、主体的に活用できたか。</p> <p>③アンケート結果を業務改善に反映できたか。各チームの業務を切り出し、削減できたか。アンケート結果80%を達成できたか。</p>